



2012年4月
イースター号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<http://www.nskk.org/kobe/>

発行責任者
司祭 芳我 秀一

印刷所
文明堂印刷所

岸辺の主

主教 アンデレ 中村 豊

東日本大震災から11ヶ月目の2月11日午後6時、車を運転していた私の耳に、NHKラジオのアナウンサーが被災者へインタビュしている声が聞こえてきました。

悲しみの涙

「昨晚、もう二度と会えないと思っていた、大震災で亡くなった友だちが夢に出てきました。それは夢でしかありませんでしたが、夢の中で友だちに会えて、本当にうれしかった。」

大地震により、この世から取り去られた人たちは二度と帰ってはきません。わかっている、震災で犠牲となった約1万9千人の関係者は悲しみの

涙にくれたことでしょう。その涙の量は、太平洋戦争で日本が負けて以来、最も多いものであったと想像します。

東日本大震災被災地での悲しみの光景は、愛する兄弟ラザロが亡くなった出来事と重なり合います。ベタニアに住むラザロが重篤であることをイエスは知りましたが、すぐには、ラザロのもとに駆けつけませんでした。イエスがベタニアを訪れたのは、ラザロの死の4日後でした。マリヤは、「主よ、もしここにいてくださいましたら、わたしの兄弟は死ななかつたでしょうに(ヨハネ11章32節)。」と涙ながらにイエスの不在を責めました。イエスも、多くの人が悲しんでいるのを見て心被打たれ、涙を流されまし

た。

その後、死んでしまったラザロが生き返るといふ奇跡が起こされます。しかし、生き返ったラザロも、いつかは死ぬ運命にあります。イエスが、「私は復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる(ヨハネ11章25節)」と語られた、その真の意味は、イエスの十字架の死と復活によって明らかにされるのです。

ガリラヤ湖畔の出来事

主と共にある喜び

イエスが十字架上で悲惨な死を遂げ、失意のどん底に落とされた弟子たち数名は、その後、ガリラヤに行きました。イエスに従う前、漁師であったペテロが先頭に立って、生活の糧を得るために、夜、仲間と漁に出かけます。しかし、魚は1匹も捕れません。次第に夜が明け初め、疲労感に襲われ、空しい思いを抱きつつ岸に向かおうとしたところ、イエスが岸辺で焚き火をおこ

して魚を焼き、パンを用意して、弟子たちを待っておられたのです。

一方、弟子たちは、その人がイエスだと気づきませんでした。その人が示す場所に網を入れますと、おびただしい魚が網にかかりました。ヨハネが即座に、岸辺に立っている人物がイエスであることとペテロに告げますと、ペテロは、嬉しさのあまり、裸では失礼と思ったのでしようか、上着を着て湖に飛び込み、岸辺まで泳いでいったのです。恐らく、イエスは、日没後からそこにおられたに違いありません。弟子たちの信仰の目が開かれないう限り、その人物がイエスと認めることができなかつたのです。

ガリラヤ湖の出来事はほんの一瞬の出来事でした。しかし、ガリラヤ以来今日に至るまで、時間と空間を超えて、世界各地至るところで、復活のイエスとの出会いが起こされているのです。

復活日の朝、聖餐式に参加する人たちは、司祭の、「主イエス・キリストよ、おいで下さい。」という祈りに呼応

報われる努力

して、「弟子たちのなかに立ち、復活のみ姿を現されたように、わたしたちのうちにもお臨みください。」と唱える通りです。

創造物語の始め、神が「光あれ。」と言われると光りがありました。イエスが弟子たちに、「舟の右側に網を打ちなさい。」と言われると、153匹もの魚が捕れました。弟子たちは、このイエスの言葉に、十字架と死を克服し、甦られたイエスによる新しい世界の初めが開始されたことを理解したのです。

ガリラヤ湖の弟子たちがそうであったように、私たちも、目標を定め、必死になって努力しても、それが全く報われないときもあります。失意落胆し、自分の至らなさを悔やむときがあります。そのようなとき、人間の力ではどうすることもできないことを、主が代わって、ひと言おっしゃることによって、大きな収穫が私たちに与えられるのです。この収穫を期待し、私たちはそれぞれ与えられた場において、キリストを証していくのです。

(神戸教区主教)

宣教委員会報告

宣教委員

司祭 バルナバ 瀬山 会治

宣教委員会は、2010年の第78(定期)教区会で「倉敷伝道所宣教委員会を発展的に解消し、今後、広く教区の宣教を検討する委員会」として設置され、昨年7月18日(月)には教区宣教協議会が開催されました。

その後、現在までに教区内の各教会委員会あてにアンケートを実施して、宣教に関する話し合い(宣教協議会)の有無や委員会への要望について調査しました。

その結果、29教会・伝道所中、開催された教会は約半数の15教会、そしてワークシートを使用した11教会の内2教会は独自のものを作成していました。

開催したほとんどの教会では、宣教についての話し合いを始めたばかりで、具体的なビジョンやアクションプランを立てられる状況にはないという回答でした。

また、未開催の教会の中には、「宣教」が、教区から押し付けられているという印象

を持つ教会も見受けられ、「自教会の宣教」という理解を強めていただくことがさらに必要であると認識しました。

2月25日(土)に行われた第3回宣教委員会で、中村主教様は「(各教会の)現状の打破は、弱点をいかに克服するかが、取りかかりであり、初めからビジョンや目標を設定することは無理。より多くの信徒に宣教について考えてもらいたい。自分の教会を理解すること、弱さを発見することが教会にとって有益となる。」と述べられました。

また委員からは、現在の教会は常連客しかいない居酒屋のような存在であることに気が付き、その問題点から宣教への話し合いが始まることの指摘があった。

そのために、アンケートやワークシートを用いれば、設問への説明が必要ではあるが、①客観的に自教会を分析できる。

②新しい視点に気づかされる。
③明確な評価基準が示される。
という利点もある。

また、かつて教区会に提出された「努力目標」や独自に作成した信徒の年齢表などを活用して協議を深めることが

できるのではないかと、この意も出されました。

さらに、委員会への要望として出された「資金」と言う意見を受けて、素晴らしいアクションプランには教区が補助することも、今後検討してどうかとの意見もありました。

宣教委員会では、各教会に、宣教に関する話し合い(宣教協議会)について理解をいただき、開催していただくために、委員を派遣いたします。

また今後、宣教委員会では、各教会での宣教協議会の実施状況、要望を再度アンケートし、その結果を踏まえた各教会へのサポートを検討していく予定です。

「第1回U26集会」報告

トマス 山本 風太

2月17日(土)18日に千葉県市川少年自然の家にて、「第1回U26集会」が開催されました。知らない方もおられるかと思いますが、「U26(ゆーじろー)」とは全国の26歳以下の青年グループのことです。



北海道・東北・中部・東京・横浜・京都・神戸・九州・沖縄教区から約40名が集まり、分かち合いやスポーツ大会などを通して、交流を深めることができました。

神戸教区からは、八代良寛君と私の2人が参加しました。1日目の分かち合いでは、「教会に行く理由・行かない理由」について話し合いました。私が行っている教会でも宣教協議会が何度か行われましたが、それとリンクした内容もあったと思います。参加者の中には教会から離れかけている人もいたので、そういった人々からの率直な意見は大切にしていかなければならないと感じました。行く理由・行かない理由は人によって様々ですが、教会での楽しさや役

割を見つけているかどうか、大きな違いだったような気がします。

伴奏、サーバー、教会行事、キャンプの役員など、これらから生じる楽しさや使命感が、教会へ行く理由として挙げられると思います。

2日目は、各教区がこれまで行ってきた行事について、またこれからやってみようというところについて、プレゼン大会を行いました。他教区がどんな活動をしているのか、詳しく知ることができたので、とても貴重な時間になりました。

プレゼンを聞いて、みんなの教会に対する思いが強く伝わってきました。神戸教区の発表では、主に青年交流会、中高生大会、広島平和プログラムについて発表し、参加を呼びかけました。プレゼンの最後には武藤司祭が、「誰かが行くから教会に行くのではなく、自分が行くから誰かが来る、という自覚を持ってほしい」とおっしゃっていました。私はこの言葉をしっかりと心に留めておきたいと思います。

今回の集会で、教区間の繋がりが持てたことは、私にとって素晴らしいものとなりました。今後は、この繋がりをさらに広げる為に、活動に取り組んでいきたいと思えます。

東日本大震災関連情報

小名浜聖テモテ・ボランティアセンターの現状報告

教区主事 ジョージ 大東 正人

京阪神3教区で協働して行っており、聖テモテ・ボランティア・センターは、当初より活動期限を今年6月まで、と期限を設けておりました。3月2日(金)、大阪教区事務所にて、3教区の連絡協議会を行い、現在の状況と七月以後の進め方について話し合いましたので、ご報告いたします。

現在の活動内容

1. 仮設住宅への奉仕活動。(泉玉露応急仮設住宅・渡辺町昼野応急仮設住宅) ぼっこりカフェ、日常生活補助支援等々。
 2. 小名浜聖テモテ教会・聖テモテ幼稚園との協働活動。
 3. 福島県下の聖公会諸教会・施設への支援。
- 特に、仮設住宅への奉仕活動は、泉玉露では地元の方々を中心とした協働体制が出来つつあ

りますが、渡辺町はまだまだこれからの状況で、さらなる支援が求められております。

今後の進め方

1. 現「聖テモテ・ボランティアセンター」は当初の予定通り6月末で終了する。
2. しかし、まだまだ支援活動が求められており、地元の方々を中心とした活動を支援する「小名浜ベース」の活動が必要。
3. そのために活動の核となる現地調整者の新体制を6月までに作り上げる。

小名浜聖テモテ・ボランティアセンターとしては、4月が神戸教区の最後の当番月となる予定ですが、引き続き皆さんのご支援をお願いいたします。



3月9日(金)~18日(日)まで、現地調整者として出張した大東主事(右端)

鳩だより 《敬称略》

祝 受 洗

- 11月6日(日) ハンナ 道 下 利 絵 呉信愛教会
- 2月5日(日) イサク 安 部 博 介 ヨセフ 永 田 一 呂 志 広島復活教会
- 2月26日(日) グレース 西 島 久 美 子 徳山聖マリア教会

祝 堅 信

- 11月6日(日) ハンナ 道 下 利 絵 呉信愛教会
- 2月19日(日) クララ 多 和 裕 美 ヨセフ 永 田 一 呂 志 広島復活教会
- 2月26日(日) グレース 西 島 久 美 子 徳山聖マリア教会

教 籍 移 動

- 2月21日(火) サロメ 入 交 昭 代 ヨハンナ 尾 城 牧 子 富岡キリスト教会より 高松聖ヤコブ教会へ

ご 逝 去

- 1月29日(日) ル ツ 平 山 弥 生 (96歳) 明石聖マリア・マグダレン教会
- 2月2日(木) ハンナ 野 津 よ ね (88歳) 松江基督教会
- 2月15日(水) フィベ 山 本 芳 子 (82歳) 徳島インマヌエル教会

神戸伝道区

- ◎伝道区婦人会被献日礼拝 2月2日(木) 10:30から、神戸昇天教会にて行われた。40名参加。
- ◎伝道区教役者大斎節黙想会 2月27日(月) 10:30から、神戸聖ペテロ教会にて行われた。7名参加。

徳島伝道区

- ◎徳島インマヌエル教会 2月26日(日)、礼拝後、特別養護老人ホームなつめ荘に21名の有志が訪問しました。牧師の挨拶に次いで、聖歌を3曲歌い、その次は、「皆さん一緒に歌いましょう」と「リングの唄」「青い山脈」を車椅子の方々の中に入り、手拍子を打ち、皆さんもにこ



教会信徒有志が特別養護老人ホーム「なつめ荘」を訪問して歌いました。

やかな顔になられて、歌ってくださいました。短い時間でしたが、心の和むひと時でした。帰り際に手を振り合せて、「またね」と何度も話しかけ帰路につきましたが、心が洗われるような気持ちになった日曜日でした。

5月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2012年5月10日(木) 午前10:30
 場所 神戸聖ミカエル大聖堂
 司祭 司祭 芳我 秀一
 説教 司祭 小南 晃

* 5月の記念逝去教役者 *

2日	司祭	覚前	蔵
5日	宣教師	ヴァイオレット・J・ヘッド	政太郎
6日	司祭	吉本	要太郎
10日	司祭	フランク・ウエスト	初子
14日	司道	マリア・松山	初子
16日	司祭	パウロ・韓	八代
19日	司主	パウロ・八代	長澤
22日	司祭	ペテロ・長澤	村大塚
24日	司祭	ヨハネ・村大塚	末好
24日	司祭	パウロ・末好	賀田
26日	司祭	バルナバ・奥賀	田千秋
28日	司祭	アーネスト・G・ハッチンソン	ソン
29日	司祭	メイベル・C・パーグス	ス
30日	宣教師		

お詫びと訂正

神のおとずれ2012年3月号4頁の、4月の記念逝去教役者の名簿において、19日逝去の、高山師と、ストロング師の職位を誤って表記しておりました。正しくは、19日 伝道師 高山ゆき。19日 司祭 ジョージ・ノエル・ストロングです。お詫びして訂正いたします。

Q イースターまでの一週間は、大切な一週間と聞きましたが、なぜ大切なのですか。

A 伝統的なキリスト教では、十字架に至る最後の一週間を、「聖週」とか「受難週」と呼び、イエスが十字架にかかるに至った一連の出来事を思い起こしています。イエスの十字架の死(受難)と復活は、キリスト教信仰の根幹です。キリスト教は、「イエス」という偉大な人物の優れた業や教えに感動して作られたのではなく、一人の人間の死、しかも私たちの罪の身代わりになり亡くなったこと、「復活」という私たちの常識を越えた出来事を通し、その死を越えた神の愛を示されたことなどから生まれました。記したら切りがない重要な事柄が、受難と復活の出来事に詰まっています。キリスト教会が早い時期から、この受難と復活を記憶し、祝うようになったのもそのためです。しかし、同時に簡単に理解できない出来事でもあります。

そこで、受難の意味を確かめるため、特にこの一週間の出来事に関する聖書の箇所は大切です。イエスの誕生物語(マタイによる福音書とルカによる福音書にのみ記されています)と違い、四つの福音書にほぼ同じ内容が記されているところからも、大切さが感じられるでしょう。ただし、ヨハネによる福音書には、イエスのエルサレム訪問が複数回記されているので、時間軸が違っているお話があります。

Q 「聖週(受難週)」での出来事を簡単に教えてください。

A 聖週は、イースターの一週間前の日曜日から始まります。この日

は棕櫚(しゅろ)の日曜日と呼ばれます。イエスのエルサレム入城の際、人々が衣服を敷き、葉の付いた木(ナツメヤシやフェニックスなどの樹木を使ったと思われます。なお日本で使う丸い形の棕櫚はパレスチナにはないそうです)を振って迎えたことから名付けられました。礼拝で棕櫚の行進を行ったり、また、棕櫚で作った十字架を配ったりします。また、最近では聖週は「赤」の典礼色を用いるようになりました。

派や律法学者、当時の権力者たちと色々論争していきました。これらの活動によって、イエスの支持者や弟子たちは、イエスを「政治的なメシア」として期待するようになったと思われます。当然、敵対者もいかにしてイエスを葬り去るかを画策したでしょう。また、それらの思いとは別に、むしろイエスは、力によって敵を打ち倒すのではないメシア像を模索していたように思います。それが木曜日から続くイエスの活動に現れています。

木曜日にイエスは、奴隷のように弟子たちの足を洗いました。最後の晩餐では、過越の子羊に自分をなぞらえ、自らの体と血によって他者を救う姿を明らかにしています。

その後、ゲツセマネでの祈り、イスカリオテのユダの裏切りによる逮捕、裁判と続きます。スピード判決の結果、金曜日の朝には、イエスは十字架につけられました。敵対者たちは、群衆が騒ぎ出す前に一気に決着を付けたかったのでしょう。イエスは、9時に十字架に着けられ、特に正午から午後3時まで7つの言葉を残し亡くなります。この金曜日に神戸聖ミカエル大聖堂では、イエスの苦しみを覚えつつ、3時間の黙想を行っています。

さてイエスは大変弱っておられたのでしょうか、その日のうちに亡くなりました。安息日(金曜日の夕刻から始まる)が迫っていたので、またまたスピード埋葬がなされました。その埋葬を見ていた婦人たちは、日曜日の朝早く、十分にできなかった埋葬の準備のために墓に行き、そこで復活のイエスに出会うことになるのです。

キリスト教入門 Q&A

執事 イサク 坪井 智

松蔭女子学院中学高等学校チャプレン・
神戸松蔭女子学院大学非常勤チャプレン



月曜日にイエスは、神殿から商人たちを追い出しました。火曜日から水曜日にかけて、ファリサイ

どうぞ、教会のイースターにお越しください。

《次号予定》
巻頭言 坪井 智 執事
フィリピン・ワーク・
キャンペーン報告
鳥取聖ルカ教会宣教協議会報告
東日本大震災関連情報
その他。

4月29日(日)

復活節第4主日
神学校のための主日

ウィリアムス神学館、
聖公会神学院のために
祈り、信施を献げましょう